

月刊 やちまなこ

2020. 1.15 発行

No.266

1月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

年が明け、真冬の厳しい季節を迎える釧路湿原も、暖冬なのか、雪が少なく気温も日中はプラスになる日には雪解け水が路上を流れている。まるで3月のような感じのする1月である。既に結氷した塘路湖では、冬の風物詩ワカサギ釣りが解禁され、週末を中心にテントが並び賑わっているようだが、もう一つの風物詩である御神渡りは残念ながら今年は現れていない。昨年からの取材に来ていた地元のテレビ局の奮闘努力の甲斐もなく、その期待には応えられなかった。



塘路フィールドノート【12/15～1/14】

【野鳥】

真冬の時期は夏よりも観察される野鳥の種類は少ないものの、カラ類をはじめ、野鳥の姿自体は非常によく見かけます。また、冬鳥のほか、夏よりも冬に観察されやすい留鳥もあり、この時期ならではの野鳥観察が楽しめます。



オオアカゲラ (塘路湖畔)

久しぶりの確認です。樹皮を豪快にまき散らしながら、しきりに幹をつついていました



ヤマセミ (塘路湖畔)

こちらも久々の確認。センターの窓から外を見ていたら、近くの木に飛来しました



アオサギ (塘路湖畔)

12月下旬、1羽だけ湖畔に留まっていた若い個体。周辺で越冬するのかもしれない



ウソ (塘路湖畔)

雪の上を走り回って餌を探しているところ。12月下旬までは毎日のように見られました



キバシリ (サルボ展望台)

最近、よく見かけます。冬はカラ類などとともに行動しているので見つけやすいです



(シマ) エナガ (塘路湖畔)

シマエナガを見るなら今の時期がチャンス。湖畔を歩くとかなりの確率で出会えます

【植物】

常緑の高木が少ない塘路湖畔では、冬になるとほとんどの木が落葉するため、森の中の見通しが良くなります。遠くまで見通せる森の中をよく観察しながら歩くと、夏には気付かなかった思わぬ発見があるかもしれません。



ツルアジサイ (サルルン展望台)
ドライフラワー状の枯れ跡。夏は目立たない花ですが、今の季節にはよく目立ちます



サワシバ (サルボ展望台下)
ミノムシのような果穂がわずかに残っています。例年に比べて今年は少ないようです



ミズナラ (塘路湖畔)
まだ多くの葉が残っていた一本。塘路湖畔で時々見られ、来春までこの姿を保ちます



ハンゴンソウ (塘路湖畔)
真っ白に凍り付いた枯れ跡。この部分だけ切り取ると、綿毛の種のようにも見えます



フキノトウ (サルボ展望台駐車場)
周辺で数株顔を出していました。日当たりが良いこのエリアでは毎年おなじみの光景



フッキソウ (塘路湖畔)
夏には群落が見られるこのエリア。この一本だけが雪の上に顔を出していました

【特集】 温根内ビジターセンターへ行こう！

こんにちは。釧路湿原国立公園温根内*ビジターセンターの藤原と申します。今回、やちまなこの誌面をお借りして、当センターと木道について簡単に紹介させていただきたいと思います。

ここ温根内は塘路湖とは釧路湿原を挟んで反対の西側に位置しており、東側と違って大きな湖や川がなく、広大な湿性の草原が広がる地域です。ここの大きな特徴として、ビジターセンターを起点に湿原の内部へ通じる木道が整備されており、湿原内に生息する植物や野鳥を間近で観察することができます**。

春から秋にかけては季節の花々が木道沿いで咲き誇り、大変多くの方が訪れます。また、今シーズンはまだ積雪が少ないため行っていませんが、冬季はスノーシューや歩くスキーを無料で貸し出ししており、雪の覆う湿原を散策することができます。そのほか、温根内は多くの野鳥が観察できる場所としてバードウォッチャーからもとても人気があります。春から初夏にかけては、繁殖のために飛来する野鳥たちのさえずりが至る所で聞かれます。ここでは塘路湖で見られる水辺の野鳥よりも、湿原や森林を好む野鳥が多く観察できます。

ぜひ、塘路湖と温根内、両方の施設を訪れてその景色や生き物の違いを感じ取ってください！



湿原を歩くスキーで散策
注) コースは職員の手引に従ってください。



花咲き誇る夏の木道



どこまでも広がる湿原

* 温根内 (オンネ・ナイ) という地名はアイヌ語で「年老いた川」という意味で、近くには温根内川という川が流れています。

** 現在は 3月27日まで木道工事のため、ビジターセンターからの通行はできません。

◎湿原の野鳥作り続けて20年・バードカービング初心者講座最終回

自然ふれあい行事「バードカービング初心者講座」が5日をもって最終講座となりました。毎回、釧路湿原の野鳥をモデルに講座を開催し、作品を通して野鳥の生態や環境について学ぶ機会にもなったようです。

釧路湿原ボランティアレンジャー会員の沢田正雄さんを講師に、開催当初は3年続けばいいかな！？などと話していたのですが、これだけ続けられたのは参加者の講座に対する好奇心や熱意が毎回伝わって来た賜物と思います。当然講師の沢田さんも解かりやすく丁寧な指導とともに解説資料や作品を用意していただき、感謝です。作品は完成すれば目標達成と思いますが、上手い下手は関係なく、制作過程を楽しむことにより、技法や応用、道具の使い方など広く見聞を深めることが出来ると思います。

始めは6回講座でしたが、途中で主催者側の都合で5回となり、総勢1376名の参加者の方々にも感謝感謝の20年間、本当にありがとうございました。



2月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

釧路湿原フィールドウォッチング

[日 時] 2月8日(土) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] シラルトロ湖・蝶の森周辺(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

初めてのスノーシューハイク

[日 時] 2月16日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 12/15(7:05,15:55). 12/31(7:12,16:04). 1/14(7:10,16:18)

～編集後記～

■元日の釧路湿原は輝かしい日の出を迎えましたが、雪がほとんどない景色が広がっていました。北海道はこれから冬の観光シーズンを迎えますが、札幌雪まつりも雪がなく、遠隔地から雪を運んでいるようです。今月下旬にはS・L冬の湿原号が運行されますが、白銀の釧路湿原を走るような雪を期待したいものです。暖冬と言っても防寒対策は万全に冬の自然を楽しんでくださいね。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料